



専門医が分かりやすく解説します

重度の痙縮、難治性の疼痛、薬が効きづらい振戦・不随意運動などの治療

機能的脳神経外科の紹介

2026年

9月17日(木) 12:15~12:45

ランチタイム



Zoomウェビナー

Zoomを使ったオンラインセミナーです。受講するには、Zoomを利用できる環境が必要です。

機能的脳神経外科とは、脳や神経の機能改善をめざした外科的治療のことをいいます。埼玉県総合リハビリテーションセンターでは、痙縮に対する「バクロフェン髄注療法（ITB）」、疼痛に対する「脊髄刺激療法（SCS）」、振戦・不随意運動に対する「脳深部刺激療法（DBS）」などを提供しています。また、この7月から、ふるえに対する「集束超音波医療（FUS）」を開始いたしました。今回、専門医が機能的脳神経外科について分かりやすく解説いたします。

目次

- ・機能的脳神経外科とは
- ・対象疾患と各治療内容について
- ・効果、副作用について

対象者

医療・福祉関係者

※ 医療、福祉関係者向けの内容ですが、患者、ご家族様をはじめどなたでも参加可能です。

講師

埼玉県総合リハビリテーションセンター
脳神経外科 医師

渡邊 充

- ・医学博士
- ・日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医
- ・日本定位・機能神経外科学会機能的定位脳手術技術認定医
- ・日本臨床神経生理学会認定専門医

講師に質問ができます！

お申込みはWEBから

- ・申込が完了するとno-reply@zoom.usからメールが届きます。
- ・受信拒否設定等されている方は、こちらのメールアドレスからの受信を許可してください。
- ・申込個人情報の取扱い：お申込みの際に取得した個人情報は、受講管理にのみ使用し、他の目的には使用しません。
- ・本研修の録画・録音、及び資料の2次利用、詳細内容のインターネット上への投稿等はお断りいたします。
これらの行為が発覚次第、著作権侵害として対処させていただく場合がございます。
- ※ QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

＼当日までお申込み可能です！／

